

大名と鷹狩 一富士・二鷹・三茄子

平成25年 1月4日(金)～2月11日(月・祝)

鷹やハヤブサなど猛禽類を調教して、鳥や兎などの狩猟をするのが鷹狩です。西欧や中東、アジア諸国などでも古来よりおこなわれ、現在でも続いています。日本でも古くから天皇や貴族ら上流階級の趣味として発達しました。

多くの戦国武将らが愛好し、徳川家康は特に好んだといえます。江戸時代には将軍・大名の庇護のもとで、高度に技術や道具が洗練され、鷹匠、鷹場などの制度も整備され、獲物や鷹の贈答も将軍ならびに大名・家臣間相互の武家儀式として重視されました。

尾張徳川家に伝えられた鷹狩の諸道具をはじめ、鷹や鷹狩にまつわる絵画や記録類を紹介します。

所蔵者が林は徳川林政史研究所、蓬は名古屋市蓬左文庫、無記名は徳川美術館の収蔵品。

名	称	時代	世紀	所蔵者
1. 鷹の愛好				
鷹の姿				
1	桜に鷹図・芦に鷺図衝立	狩野三圭	良筆	江戸 19
2	訓蒙図彙 第十冊	中村惕斎編	十四冊の内	江戸 寛文6年<1666> 林
	訓蒙図彙 第十冊	中村惕斎編	十三冊の内	江戸 寛文6年<1666> 蓬
3	頭書増補訓蒙図彙大成 六	中村惕斎著	大脇家寄贈	江戸 寛政元年<1789>
	頭書増補訓蒙図彙大成 六	中村惕斎著	十冊の内	江戸 寛政元年<1789>
4	鷹之名所図		二冊	江戸 19 蓬
5	武用弁略	木下義俊編	八冊の内	江戸 19 蓬
6	蠟色塗脇指拵	鷹道具図縁・鷹に雉図小柄		江戸 19
		徳川慶勝(尾張家14代)所持		江戸 19
7	鷹捉雉子図笄			江戸 17
8	梅に鷹図縁頭・縁	銘 秀利(花押)		江戸 19
9	鷹羽図目貫	銘 大岡政次		江戸 17
鷹の産地				
10	鷹出所帳	題箋：徳川慶勝(尾張家14代)筆		江戸 19 林
11	張州雑誌 卷九十九	内藤東甫編	百冊の内	江戸 18 蓬
鷹の養育				
12	春日権現験記絵巻(模本) 卷五		二十巻の内	江戸 19
13	春日権現験記絵巻(模本) 卷十三		二十巻の内	江戸 19
14	絵本 鷹かゞみ	中		明治 19
15	雪中鷹捉搦鶴図	狩野惟信筆		江戸 18
16	鷹図屏風	神谷晴真筆	徳川慶勝(尾張家14代)所用	江戸 19
			八曲一双の内	江戸 19
17	鷹時絵印籠	銘 梶川作(印)		江戸 19
18	木地鷹彫印籠			江戸 19
19	紫檀鷹捉鷺彫印籠			江戸 19
20	御当家之書 第二冊(弓・馬・鷹請取渡様)			江戸 18 林
21	訓蒙図彙 第八冊 卷第十(器用三)	中村惕斎編	十四冊の内	江戸 寛文6年<1666> 林
22	鷹籠図			江戸 18-19 林

名	称	時代	世紀	所蔵者
鷹書				
23	鷹之書 斎藤恒平写	江戸	17	蓬
24	鷹養記	江戸	18	蓬
25	鷹之葉	江戸	18-19	蓬
26	鷹之足緒留様	江戸	天保8年<1837>	蓬
27	鷹詞類聚 中村蕃政著	江戸	18	蓬
28	西園寺公経 鷹百首和歌	江戸	17	蓬
29	西園寺公経 鷹百首和歌	江戸	17	蓬
2	鷹狩の様子			
30	春日権現験記絵巻(模本) 卷三	江戸	19	
31	鷹狩図中啓	江戸	慶応2年<1866>	
32	絵本倭文庫 六編一 西川祐信画 大脇家寄贈	江戸	三十冊の内 安永元年<1772>	
33	絵本 鷹かゞみ 上 河鍋暁斎画	明治	19	
34	鷹狩絵巻	江戸	二巻 17-18	林
35	絵本倭文庫 二編三 西川祐信画 大脇家寄贈	江戸	三十冊の内 安永元年<1772>	
36	絵本倭文庫 六編二 西川祐信画 大脇家寄贈	江戸	三十冊の内 安永元年<1772>	
37	頭書増補訓蒙図彙大成 十 中村暢斎著 大脇家寄贈	江戸	十冊の内 寛政元年<1789>	
3	家康と將軍家の鷹狩			
38	徳川家康自筆書状 阿部新四郎(重吉)・木村宛 七月二日 旗本阿部家伝来	桃山	16	
39	徳川家康自筆道中宿付	江戸	慶長17年<1612>	
40	駿府政事録	江戸	八冊の内 18-19	蓬
41	駿府御分物御道具帳 色々御道具帳 四・五	江戸	十一冊の内 元和4年<1618>	
42	徳川秀忠御内書 佐野新九郎宛 十二月七日 深溝松平家伝来	江戸	17	
43	土井利勝書状 竹腰正信・成瀬正虎宛 霜月廿六日	江戸	17	
44	徳川直七郎(齊温)宮参り行列図 上巻	江戸	19	
45	日光東照宮祭礼図巻	江戸	19	
46	千代田之御表「鶴御成」 楊洲周延画	明治	三十一組 明治30年<1897>	
4	尾張家の鷹狩			
歴代藩主の鷹狩				
47	事蹟録 元和九年 第二十五冊	江戸	一・二八冊の内 宝暦13年<1763>	林
48	源敬様御代御記録 第十九冊	江戸	三十六冊の内 19	
49	御鷹野御留帳	江戸	19	蓬
50	徳川齊荘自詠歌集「知多の枝折」 徳川齊荘(尾張家12代)筆	江戸	天保14年<1843>	
51	張州日録 徳川慶恕(尾張家14代)筆	江戸	嘉永4-5年<1851-2>	林
52	国秘録 第五十七冊「御道中御行列」 奥村得義筆	江戸	19	林
53	鷹覚書	江戸	安政4年<1857>	頃 林
54	淡水留記 徳川慶勝(尾張家14代)筆	江戸	嘉永7年<1854>	林
55	場発日記	江戸	安政元-2年<1854-5>	林
56	淡水百無古尾地獲記 徳川慶勝(尾張家14代)筆	江戸	安政2年<1855>	林
57	百無遺場并小禽獲留記 徳川慶勝(尾張家14代)筆	江戸	19	林
58	淡水御飼付御入用	江戸	19	林
59	鷹之鳥帳 鷹掛小性役筆	江戸	安政4年<1857>	林
60	鷹「岡峙」捉鶴図	江戸	19	蓬
60	鷹「倉内山」捉鶴図	江戸	19	蓬
61	鷹「雁泊」捉雁図	江戸	19	蓬
62	鷹「大嶋」捉雁図	江戸	19	蓬
63	名古屋東照宮祭礼図巻 第四巻 森高雅筆	江戸	九巻の内 文政5年<1822>	

名	称	時代	世紀	所蔵者
御鷹場				
江戸・尾張・その他				
64	尾張家武州御鷹場絵図	江戸	寛政12年<1800>	蓬
65	尾張家武州御鷹場道程図	江戸	19	蓬
66	阿部忠秋書状 成瀬正虎宛	江戸	寛永11年<1634>	
67	尾張家御鷹場絵図	江戸	18-19	
68	尾張家遠州御鷹浜絵図	江戸	18-19	蓬
鷹匠				
69	尾張家遠州鷹部屋鳩部屋	江戸	19	林
70	尾張家勢州広瀬野御鷹場図	江戸	万延元年<1860>	蓬
71	平岩親吉書状 佐枝種長宛	江戸	17	
72	源敬様御代分限帳	江戸	17-19	蓬
73	御役名順	江戸	19	蓬
74	諸図 二	江戸	19	林
75	諸図 四	江戸	19	林
鷹狩の道具				
76	花色鷹野帷子	徳川光友(尾張家2代)着用	江戸	17
77	鷹狩道具 二十七点	徳川慶勝(尾張家14代)所用	江戸	19
78	柑子色熏革弓懸(鷹匠用)	上田家寄贈	江戸	19
79	青貝微塵塗刀拵	徳川義宜(尾張家16代)所用	江戸	19
80	鷹道具図装剣具(縁・頭・栗形木添・胴金・石突)	銘 大岡政次	江戸	17
81	餌籠雉子図三所物 銘	栄乗(後藤家6代)作 光孝(花押) 徳乗(後藤家5代)作 光美(花押)	桃山	16-17
鷹狩の法度				
82	御鷹方御法度書		江戸	19
83	武家命令究事 一	二冊の内	江戸	19
5. 武家儀礼と鷹				
鷹の贈答				
84	木曾諸山并三浦山絵図		江戸	18-19
85	木曾御材木方「木曾山雑話」所収		江戸	宝暦9年<1759>
86	巢鷹	二冊の内	江戸	享保18年<1733>
87	絵本 鷹かゞみ 下 河鍋暁斎画		明治	19
88	徳川秀忠書状 松平忠吉宛	十月三日	江戸	17
89	幕府老中連署奉書 竹腰正信・成瀬正虎宛	十二月七日	江戸	17
90	幕府老中連署奉書 竹腰正信・成瀬正虎宛	十月十五日	江戸	17
鷹の獲物				
91	武家諸礼躰方明記		江戸	19
92	堀田正盛書状 成瀬正虎宛	十月十日	江戸	17
93	御本丸席図		江戸	18-19
94	青標紙 大野広城編	二冊の内	江戸	18-19
95	徳川秀忠自筆書状 徳川義直(尾張家初代)宛	徳川義宣氏寄贈	江戸	17
96	幕府老中連署奉書 竹腰正信・成瀬正虎宛	十月十六日	江戸	17
97	礼物規式 文化十三年序	五冊の内	江戸	19
98	徳川義直書状 松平忠昌宛	八月十二日	江戸	寛永20年<1643>
99	分配覚書(獲物分配覚書) 徳川慶勝(尾張家14代)筆		江戸	安政2年<1855>
以上				

出品リストの番号は、展示順を示していません。
 作品保存のため、展示作品および出陳期間を変更する場合があります。
 予めご了承下さい。

名古屋城下図

平成25年 1月4日(金)～2月11日(月・祝)

名古屋は慶長15年(1610)、徳川家康の命により新たに作られた城下町です。開府当初の都市の骨格は、正保4年(1647)写の「名古屋城絵図(徳川美術館蔵)」に、城と郭内、碁盤割、寺町、武家地の区画として見て取れます。その後には作られた城下絵図の多くは、この骨格の上に、さまざまな街の変遷を追加してきました。例えば、万治3年(1660)の大火後の広小路、元禄13年(1700)の大火事の後、四間道、天明2年(1782)の名古屋大火の後の道路整備、天明5年(1785)年、建中寺全焼後の西側隣接武家屋敷の引き払いなどは大火を契機にした対策です。また、大曾根屋敷や新御殿の消長、大幸川の付け替えなど、為政者の意向や民政を反映した変化も各時代の城下図には記録されています。今回はこうした各時代の変化がよくわかる絵図をご覧ください。

名	称	時代	世紀	所蔵先	
1	蓬左遷府記稿	加藤品房編	江戸	19	
2	名古屋城下絵図		江戸	17	徳川美術館
3	尾府名古屋図		江戸	正徳4年<1714>	
4	名古屋並熱田絵図		江戸	18	徳川美術館
5	名古屋堀川東伝馬町南之図		江戸	17	
6	坪間路頭帳	十三枚の内	江戸	18	名古屋市博物館
7	屋敷路頭	七枚	江戸	18-19	名古屋市博物館
8	名古屋割絵図	十三枚の内	江戸	19	
9	名古屋城下図	高力全休庵画	江戸	19	
10	名古屋図	高力全休庵画	江戸	19	名古屋市博物館

以上

所蔵先の標示の無い作品は名古屋市蓬左文庫の所蔵品です。
 出品リストの番号は、展示順を示していません。
 作品保存のため、展示作品および出陳期間を変更する場合があります。